道徳の時間学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　山下　博

１　学　年　第６学年　２１名

２　主題名　夢をあきらめない【Ａ　希望と勇気】

３　ねらい　オリンピックに出場したものの捻挫で実力を出し切れなった曽根幹子選手が次なる目標を追い続けていった心情に寄り添うことを通して，高い目標をもち，他者からの評価を気にするのでなく，自分が今できることを一つひとつ積み上げていくことで挫折を乗り越え，目標に近づけることを理解し，夢の実現のために努力し続けようとする心情を育てる。

４　教材名　「山里から世界へ」　（自作教材）

５　主題設定の理由

* 本主題は，内容項目のA「主として自分自身に関すること」の５「より高い目標をたて，希望

と勇気を持ち困難があっても，くじけずに努力して物事をやりぬくこと。」にあたる。より高い目標を実現するためには，現状に満足すればそれ以上の成長は望めない。また，他者の意見や評価に振り回され自分を見失ったり，プライドに縛られたりすることで前向きに努力することから回避していても同様である。他者に責任転嫁をしたり，傲慢な考えを誇示したりして現状に甘んじている自分の弱さに気づき，克服していかなければ真の自己実現には至らない。逆に夢と現実のギャップに悩まされ「どうせ挑戦しても無理。」と努力する前からあきらめていたのでは向上心すらわかない。自分の可能性を信じ，直面している課題に向き合い，今，自分ができることを一つずつ積み上げていくことで，新たな可能性を見出すことができるのである。思春期に差し掛かる児童は，これから多くの困難な出来事や挫折と対峙することになる。そんな時期だからこそ様々な生き方への関心を高めるとともに，夢を失うことなく絶えず前を向き，目標達成を目指して，自分を信じ努力し続けようとする心情を育てる必要がある。

* 本学級は，素直で意欲的な児童が多く，互いの成長を喜び合うことのできるクラスである。

最高学年なので一年生歓迎遠足・運動会・児童会のレクなど学校行事を成功させようという目標を掲げ，みんなで協力しながら取り組んできた。当然，目標は高ければ高いほど，失敗や挫折が伴うことになる。それでも，あきらめず努力し続けた姿を評価したり，その作文を学級通信で紹介したりすることで，その価値を共有化してきた。しかしながら家庭学習などで，自分なりの目標を持ちコツコツ努力できる児童がいる反面，「文章問題は難しいからできない」「作文を書くのはしんどい」と困難に負けてしまう児童もいる。その差が大きく，二極化しているのが実態である。二学期，児童会の選挙・学習発表会などで困難な選択を迫られる場面が多く，それに伴い失敗や挫折に向き合うことも増えるであろう。この時期，夢の実現のために目標を持ち，挫折を乗り越えるための生き方を学んでいくことは非常に意義深いことである。

道徳の時間では，みんな意欲的に授業に参加している。より深い価値にせまるために切り返し発問をしても，それに臆することもなく氷山の下に部分の「生き方・信念」に迫る思いを発言できる児童が育ってきた。また，多様な「話型」を紹介することで，発言のつながりが増え，子ども同士で価値を深めていこうとする雰囲気が育ってきている。しかし，自己とのかかわりで考える段階になると発言者が限定されてしまう。そのため，発問を精選し考える時間を確保したり，何人かの発言を紹介した後，ワークシートに書かせたりすることで，子供同士で練りあい，本時のねらいにせまる授業づくりに取り組んでいるところである。

* 本教材は，現在広島市立大学の教授である曾根幹子先生に語っていただいた実話をもとに作成

した。病弱だった「わたし」が走り高跳びに出合い，日本新記録を樹立，さらにモントリオール・オリンピック出場の夢をつかむ。しかし，踏切足の捻挫が原因で，予選落ちとなってしまう。さらに反対の足も捻挫してしまった。にもかかわらず新たな目標である「再び180㎝以上を跳ぶ」という夢を実現した教材である。オリンピック出場という喜びの絶頂から，どん底にたたき落とされたという展開はあまりに壮絶である。栄光とプライドを投げうち，再スタートしていった生きざまには学ぶべき多くの教訓がある。

　　　導入では，自分が努力したけど失敗・挫折したことを交流する。展開では，「わたしは，どういう思いでバーを140㎝まで下げるという判断をしたのだろう。」と問うことで，プライドや栄光を捨て，周囲の評価にふり回されなくなったわたしの成長をみとりたい。中心発問で，「あの時見た空の青さが一生の宝物なのはどんな気持ちからか」と問うことで，突然の不運に襲われた挫折に屈することなく，悔しさをバネにして夢を追い続けていくことの大切さに気付かせたい。補助発問で「わたしは才能に恵まれていなかったが目標をたてる力はあった」というメッセージの意味を考えさせることで，自分を信じ，今自分ができる事をコツコツと積み上げていくことが挫折を乗り越えていく方法であることを理解させたい。終末では，曾根幹子先生からのビデオメッセージを視聴し，本時のねらいである「より高い目標をたて，希望と勇気をもってくじけないで努力する」ことの大切さに気付かせたい。

【ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫】

・発問を精選する。

・視覚的情報を効果的に活用する。（場面絵・ビデオレターの活用）

・考えや自己の振り返りを交流しあう場を設ける。

・ワークシートを活用し，自分の意見をまとめることができるようにする。

6　準備物

　　　教材，場面絵，短冊，ワークシート，ビデオレター

７　学習指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 主な発問と予想される児童の心の動き | ・指導上の留意点○ユニバーサルデザイン視点による支援★児童への評価の観点 |
| 導入 | 1　自己の体験を交流する。 | ○目標を立てたけれど失敗した時の気持ちを発表しましょう。・がっかりしてしまって，自分にはもうできないと思った。・努力をさぼってしまった自分が嫌になった。・しかたがないから，もう一度やろうと思った。・失敗をばねに，前を向いて頑張ろうと思った。 | ・本時は「目標に向かって努力する」ことについて考えていくことを伝え，課題意識をもたせる。 |
| 展開 | 2　教材「山里から世界へ」の範読を聞いて話し合う。 | ○わたしは，どういう思いでバーを140㎝まで下げるという判断をしたのでしょう。・今の自分は，昔と違って両足をねんざしている。プライドを　すてて，一からやり直さないと成長できない。・他の選手は関係ない。自分を信じてがんばるだけだ。・他人の記録や評価を気にしていたら，自分が伸びないから。・次々高いバーを跳び越える若い選手を見ていたら，あせってますます自分がみじめになるだけだから。◎「あの時見た空の青さが一生の宝物」なのは，どんな気持ちからなのでしょう。・「再び180㎝を跳びたい」という目標が達成できるまで，最後まで，あきらめなくてよかった。・日本記録を出すまでは，それほどの苦労と挫折がなかった。でも184cmが跳べた時は人生のどん底からはい上がり，多くの困難を乗り越え，やっと出すことのできた記録なので本当にうれしい。・「もう一度180㎝を跳ぶ」目標を達成するまでは，本当に大変だった。こつこつと練習を積み上げた。とてもつらかったからその分，夢がかなった時の喜びは大きい。本当に最後まで，夢をあきらめなくてよかった。**↓**　（補助発問や切り返しによる価値の深まり）「ただ目標を立てる力があった」とは？・挫折しても，それに負けず新たな目標をたて続け，今の自分にできることをコツコツ積み上げる力。・他の人と比べるのではなく，自分なりの目標を立てる力。・人生のどん底にいても，前を向いて目標を立てることのできる力。「私が捨てたものと，もち続けたもの」とは？・捨てたものは，他人を気にする弱さとプライド。・他人の記録や評価にふりまわれてきた自分の弱さ。・もち続けたものは，初心にもどり新しい目標を立てる勇気。・今できることを，コツコツ積み上げていく力。○みんなもこのように挫折を乗り越えた経験はありませんか？また困難に直面した時どうしていきたいですか？・組体操でできない技をあきらめず練習して，完成させた。・水泳練習で「50ｍは絶対泳げない」と思った。でも，記録会めざして練習し続けたら，50ｍを泳ぐことができるようになった。くじけず目標を持って練習し続けて本当によかった。・野球の試合で負けてくやしかった。だからそれをバネに練習し続けた。すると前より少しずつうまくなっていった。・ぼくは，児童会の選挙で落選した。たとえ役員になれなくても，くじけず学校のために仕事をしていこうと思った。 | ○場面絵や短冊を提示したり，補足説明したりすることで内容を把握しやすくする。○ワークシートに自分の体験を書くことで自分とのかかわりを明らかにする。・「目標を立てる力」を問い，困難に向い今できる努力の大切さに気付かせる。・「捨てたものともち続けたものを」補助発問し，自分の弱さを捨て希望と勇気をもち続けたことに気付かせる。★高い目標をもち他者からの評価を気にするのでなく，自分が今できることを一つひとつ積み上げていくことで挫折を乗り越え，目標に近づけることを理解することができる。（ワークシート，発言）・中心発問での思考の深まりの中で，ねらいとする道徳的価値が自分の中にもあることに気付かせる。 |
| 終末 | 3　ビデオレターを見る。 | ○曾根先生のビデオメッセージを見ましょう。・夢中になれるものを見つけて，それを続けてみようと思った。・曾根先生と同じ甲奴中学校に入学したら，クラブを一生懸命続けていきたい。・自分には才能がないと思っていたが，自分を信じて目標をもち，コツコツと努力してみようと思った。 | ○ビデオメッセージを見ることで曾根先生の思い・人生観を理解する。・ふりかえりを発表させることで，本時のねらいに迫る。 |

８　板書計画

　自分をみがいて

「山里から世界へ」

失敗・挫折　 　「もうやめたい」「いやになった」「自分には無理」

　　　　　　　 　「もう一度挑戦しよう」「失敗をバネにしよう」

曾根幹子選手　　　　　　 ・偏食＝学校をよく休む＝からかわれる

　　　　　　　　　　　　　　　 ・「走り高跳び」＝厳しい練習

　　　　　　　　　　　　　 ・中学・高校・大学＝日本一

　　　　　　　　　　　　　 ・選考会＝クリア

オリンピック出場 ◎夢の実現＝「最高の気分」「努力してよかった」

ふみ切り足のねんざ＝予選落ち＝挫折

　　　　　　　　　　　　　　 日記 このままでは終われない

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 次のオリンピックをめざしたい

　 両足のねんさ＝人生のどん底

一四〇㎝まで下げた判断　　「栄光」を捨てる

他人と比べずに一から再スタート

あの時見た空の青さが一生の宝物なのは，

どんな気持ちからなのでしょう

・最後まであきらめなかったから，奇跡が起こった

・自分の弱さをすて，今できることを積み上げたから

　　　　夢がかなった

目標を立てる力

・今できることをコツコツ積み上げていく＝努力

・プライドを捨て，初心に戻り努力する＝勇気

・人にふり回されず自分を信じて夢をあきらめない＝希望

場面絵

才能ではなく目標を立て努力する意志

場面絵

場面絵

９　ワークシート



【道徳的価値の自覚を深める指導になるために】

―考えさせる道徳・議論する道徳―

|  |  |
| --- | --- |
| 行い行動 | ・私は184㎝の上空に止まっていた。・再び184㎝を跳ぶことができた。・185㎝の日本記録を出した時より，はるかに高い上空を跳んでいるように思えた。・目の前に真っ青な空が広がっていた。 |
| 登場人物が感じたこと考えたこと | ・あきらめずに努力し続けたから奇跡がおこったのかもしれない。・こんな傷ついた両足で「もう一度180㎝を跳んでみたい」という夢をかなえることができた。本当にうれしい。日本新記録を出した時より　うれしい。・捻挫の後，自己ベストが176㎝と落ちてしまった。でもあきらめず，目標を持ち努力し続け，184㎝も跳ぶことができて，本当にうれしい。・自分の栄光やプライドを捨て，最初から再スタートしたから，新しい目標を達成することができた。・苦しみが大きいほど目標を達成した時の喜びは大きい。 |
| 道徳的価値考え方や生き方信念 | ・人生のどん底にいても，前をむいて目標を立て，それにむかって努力し続ければ夢に近づくことができる。・他人の記録や評価にふりまわさせることなく（自分の弱さを克服し），初心にもどって練習しなければ，困難に打ち勝つことはできない。・挫折を乗り越えるためには，人と自分を比べるのでなく，自分を信じて，今できることをコツコツと積み上げていくことが大切である。 |

第６学年　　**ピーナッツプログラム**　《２学期》

＜プログラム名＞　友達と助け合いながら，自分の目標に向かって努力しよう。

○より高い目標を立て，希望と勇気をもち，困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く子供

◎友達と互いに信頼し，学び合って友情を深め，異性についても理解しながら，人間関係を築いていく子供

○我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，先人の努力を知り，国や郷土を愛する心をもつ子供

ねらい

【高学年】

道徳の時間

児童の意識

体験活動等

（行事・総合的な学習の時間・生活科・特別活動・各教科・日常の指導）

《学校行事》「水泳記録会」

練習の成果を生かし，最後まであきらめず努力し，自己の記録を更新する。

♡友達と協力しあい，失敗に屈することなくより高い目標に向かい努力し続ける自分になろう。

《理科》「科学研究」

一人ひとりが自分の研究テーマをやりきり，集大成した作品を完成させる。

**「山里から世界へ」**

Ａ　希望と勇気

高い目標をもち他者からの評価を気にするのでなく，自分が今できることを一つひとつ積み上げていくことで挫折を乗り越え，目標に近づけることを理解することができる。

《学校行事》「修学旅行」

集団規律を守り，友達と協力して，最高の思い出を残す。

《児童会行事》「児童会選挙」

最高学年としての自覚を持ち，より良い学校づくりをめざそうとする。

♡水泳記録会・児童会選挙・学習発表会など学校行事の成功を目標に掲げ，みんなで協力して，困難を乗り越えよう。

　**「明日香と弥生」**

Ｂ 友情，信頼

互いに理解しあい，学びあい信頼し合って，真の友情を育てていこうとする心情を育てる。

《特別活動》「学習発表会を成功させよう」学習発表会にむけての自分の役割を確認し，責任を持ってやり遂げようとする意欲を育てる。

《学校行事》「学習発表会」

行事の成功をめざし，自分の役割を果たし，全力で演技・発表する。互いの成長・努力を認め合う。

＜めざす子供の姿＞

最高学年の自覚を持ち，目標の達成をめざし，協力・努力し続ける子供